

2024～2025年度 地区スローガン

持続可能なロータリーに！ 共に学び、共に行動
Make Rotary Sustainable ! Learn together Act together

No.27

2024～2025年度クラブテーマ

ロータリーを楽しみ、人生をエンジョイ

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30 例会場 勝山市市民交流センター 〒911-0811 福井県勝山市片瀬町1丁目402番地
TEL 0779-87-7761 FAX 0779-87-7760 <https://rid2650-pub.com/katsuyama/> Email:katsuyamarc@gmail.com
■会長 斎藤清一郎 ■幹事 久保光子 編集発行・文責 公共イメージ委員会

第3065回 例会 (1月28日)

●会長スピーチ

会長 斎藤 清一郎



一昨日は大相撲の千秋楽、久しぶりに三つ巴の優勝決定戦になり、我が家でもテレビにくぎ付けで観戦しておりました。勝山RCの大相撲観戦クラブも連日のラインでの熱い解説に沸いていました。また、3月の大阪場所では新横綱豊昇龍の土俵入りが楽しみです。

さて、我が2650地区でも一大イベントの地区大会が4月6日に奈良にて開催されます。

2024-25年度の集大成ですので、どうか今からでも参加申込は間に合いますのでよろしくお願いします。

●委員会報告

●公共イメージ委員会

辻 利津子

週報の通し番号を26に訂正お願いします。

●幹事報告

幹事 久保 光子

○今月の理事役員会議事録をご確認ください。

○2027-28年度ガバナー決定通知

京都洛北RC 中野耕太郎君

○2024-25年度会員増強アクション会議のご案内

3月23日(日)13時～ 京都テルサ 申込3月14日〆切

●出席報告

上山 弥一

1月28日 欠席4名 80.95%

1月21日 欠席2名 90.48%

●ニコニコ報告

山内 政司

ビジターフィー

福井南RC 櫻川幸夫氏

無届欠席

和田達也

地区ロータリー財団補助金管理セミナー

2025年1月18日(土) 13:25～16:30

ホテルグランヴィア京都3階「源氏の間」にて

中本勝ガバナーによる開会点鐘・開会挨拶、ロータリーソング奉仕の理想唱和に始まりました。今回は参加者が事前にeラーニング(2時間余)でロータリー財団について学び試験に解答した上でセミナーに参加し、9～10人×30班のテーブルに分かれRLI方式でディスカッションをするという斬新な内容でした。

地区ロータリー財団委員長松原六郎パストガバナーの開会挨拶・次年度財団方針説明があり、是非多くの財団寄付をして有意義な財団補助金活用事業をしていただきたい、特にグローバル補助金の活用が当地区は少ないとのことでした。

元平和フェロー奨学生報告「平和フェローの経験とその後の活動」として元平和フェロー奨学生・立教大学兼任講師、金子由佳氏による講演では、難民支援NGOやODA実施機関で勤務され、現職セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンではイエメン及びガザの開発・緊急支援事業を担当、100回近くガザを訪問されパレスチナ問題を教えておられる経験を生々しい写真を映して語られました。

地区財団委員会副委員長大橋浩志氏よりeラーニングを踏まえての会議の説明があり、テーブルごとにファシリテーターの進行にてディスカッションをしました。

議題1:Eラーニングの内容より「財団補助金を申請しても通らない事業について」

議題2:Eラーニングの内容より「通らない事業を補助金事業にするためには」

それぞれ2テーブルずつ議題について話し合われた内容の発表がありました。

地区グローバル補助金委員会委員長鶴田哲司氏よりグローバル補助金についての説明、続いて松原六郎パストガバナー・地区ロータリー財団委員長、小崎学ガバナーエレクト挨拶、中本勝ガバナーの講評/閉会挨拶/閉会点鐘で終了しました。

(滝川会長エレクト・辻副幹事参加)



本日 プログラム	会員卓話 幅田浩二会員	2月11日 プログラム	休会	2月18日 プログラム	会員卓話 滝川博則会員	2月25日 プログラム	会員卓話 笠松誠一会員
-------------	----------------	----------------	----	----------------	----------------	----------------	----------------

ゲスト卓話

葵城（福井城）の初代越前藩主 結城秀康公とその子が後の勝山城主に

福井南RC 櫻川幸夫 氏



皆さんこんにちは。8年ぶりにお伺いしました。勝山の地というのはすごく親しみがありまして、若い時から何度も来ています。

コロナ禍に親戚から連絡があり、65年前に亡くなった方の古い新聞のスクラップ帳を引き取ってほしいという事でした。正直いらないと思いましたが断れず、引き取りに行きました。スクラップ帳は昭和10年前後に購入したもので30銭位の値段だったようです。

持ち帰ってから埃を落とし、アルコールを新聞に吹きかけますと文字がはっきりしました。

読み始めますと、「葵城の今昔と将来を聴く」という昭和11年7月7日から6日間連続で会議が開かれたという内容の記事がありました。

大阪毎日新聞の記事ですが、大阪は空襲にあって焼けてしまっていますから貴重なものです。

スクラップした方は美術の先生でしたが、福井城の他にもお城についての記事を何故集めたのかは謎です。



福井城 別名 葵城と書かれています。

東京博物館に行くと、福井藩の江戸時代の大名屋敷の模型があります。

前回来た時にギターを弾きましたが、仲間たちと県民ホールなどで発表会をしています。

(次回は4月13日 PM2:00～県民ホールで開催します。)

その中の尺八を吹く同級生にこの新聞を見せたところ、その記事を全てワープロで打ってきました。ぼやけて読みにくい所を打ち直しているうちに止まらなくなったようです。

新聞とワープロで打ったものを見開きにしたものを、「葵城」という歌の資料集にしたのが、『福井城を「葵城」と呼ぶ 記事を追って・・・』の始まりです。



昨年12月に刊行した一追録一では葵紋についても書いています。

2冊とも勝山市立図書館に寄贈もしましたが、読んでみたいという方がありましたら、1000円程でお渡しできますのでご連絡ください。

1冊から2冊目を出す間に新聞以外の文献を探した時に、大阪朝日新聞の論説委員長が書かれた「名城ものがたり」という本を見つけることができました。

そこには

「この優雅に葵城とも呼ばれる福井城は・・・」という文章がでてきました。



調べているうちにどうしてこれだけのことがわからなかったのか、疑問に思いました。

色んな方のお話を聞たところ、戦争が終わって日本がGHQの管理下になったとき、消された言葉が「葵」だったのではないかということでした。